



西野正人



ハッキリ言います! 都政にひとこと!

【ホームページもみてね!】 <http://www.nishino1.com/> 活動報告No.45

■ 西野正人友の会では、ロシアによるウクライナへの軍事侵略等について特集し、ご報告します。

平和・命・領土・主権を守ろう!

2月24日にロシア軍がウクライナに軍事侵略を開始しました。旧ソ連時代の栄華を取り戻せんとする、実に身勝手な愚行と言わざるを得ません。ウクライナの国民が一丸となってロシア軍に抵抗していますが、比較にならない軍事力を有するロシア軍による、軍民を問わない無差別な攻撃によって多数の犠牲者を出し、首都へとせまっています。

■ 国際社会が協力し、ロシアへの前例のない経済制裁を発動!

この事態に日本を含む欧米諸国が一丸となって、ロシアの主要7銀行を対象とする SWIFT (国際銀行間通信協会) からの排除を始めとする前例のない経済制裁を発動しました。一連の経済制裁の効果は早くも現れ、ルーブルが下落しデフォルトの可能性も出てきました。独裁者プーチンを選んだロシア国民にも事の真相を理解し、この重大な犯罪のツケを払って頂かなくてはなりません。しかし、今回の G7 の SWIFT からの排除決定は最大手とエネルギー関係の銀行は除外されています。最も影響を受ける EU 諸国にはウクライナの次は我が身であると覚悟を決め、さらなる対策を求めます。

■ 都議会は、ウクライナからのロシア軍の即時撤退を求めて決議!



ウクライナ国旗色にライトアップした都庁(都HPより)

東京都議会では3月3日、「ウクライナからのロシア軍の即時撤退を求める決議」を行いました。ウクライナからの避難民向け都営住宅 100 戸を用意し、最大で 700 戸まで提供可能です。また、東京都はウクライナとの連携を示すため、モスクワやトムスク州との都市交流を停止することを決めました。

3月18日、都は急遽 252 億円の補正予算を上程し、25日、本会議最終日に本予算 7兆 8,010 億円(前年度比 3,760 億円増)とともに可決されました。この補正予算は中小企業対策として「ウクライナ情勢対応緊急融資」制度のほか原油価格高騰対策も含まれています。

■ ロシアの手法「サラミスライシング」は中国も同様に行っています

ロシアの武力による現状変更は、これまでチェチェン、ジョージア、ウクライナのクリミア半島等に同様の手口で行われています。これらの手法は少しずつ領土を削り獲ることから「サラミスライシング」と呼ばれています。このやり方は中国もアジア諸国に向けて同様にすでに行われています。インドとの国境紛争を始め、南沙諸島に違法に建設した人工島はブルネイ、マレーシア、フィリピン、台湾、ヴェトナムの反発を招いています。もちろん尖閣諸島と沖縄、そして台湾へも中国の魔の手はのびています。



自民党・防衛協会青年部との啓蒙活動

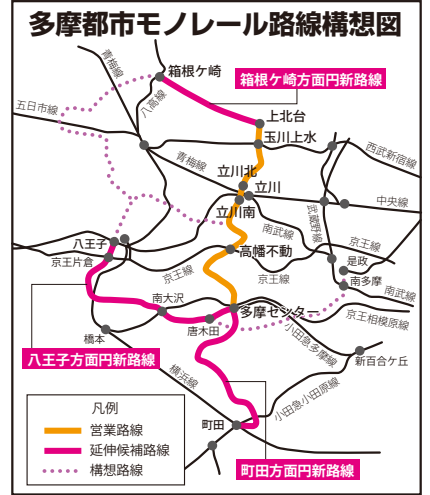
今回、ウクライナ国民の「自国を守る決意」によって、自由主義世界が結束していきました。自らの血を流してでも国を守ることがなければ、他国が手を差し伸べることは無いのではないのでしょうか。日本もここから多くを学ばなければなりません。まずは、自らの国を自らが守る「自衛権」についても現実的な議論が必要です。ウクライナが NATO に加盟していなかったことによりロシアの侵略を許してしまったことから、共に手を携えて国を守る同盟国の存在、いわゆる「集団的自衛権」の重要性も見直しが急務です。

多摩都市モノレール町田延伸ルートが決定！

多摩都市モノレールは多摩地域の南北交通を補う重要な路線です。モノレールの延伸については令和3年に都議会の一般質問でも取り上げましたが、上北台と箱根ヶ崎間を結ぶ7.2キロメートルについては道路もほぼ完成し事業化に向け作業が進んでいます。これまで町田と八王子のどちらに向かうか、決定していなかった多摩センター以南の延伸ルートが決定しました。多摩センター駅から町田市立陸上競技場や野津田高校、日本大学第三高校、小山田桜台団地、桜美林学園附近を通過し、町田市民病院、町田高校附近を通り町田駅に至るルートとなりました。実現には10年以上の時間を必要としますが、これにより日野市の交通利便性が高まることと思います。

かつて、モノレールが開通した折り、商業の要衝である立川と繋がることにより、多摩センターの商業圏は少なからず打撃を受けたと聞きます。利便性が高まると同時に大きな商業圏へ利用客が吸い上げられる「ストロー効果」へも対策が必要です。日野市には高幡不動尊や多摩動物公園、新選組の史跡などを始めとする、近隣他市には無いレガシーがあります。単に商業圏の大小では無く、より個性的で魅力ある日野市の街づくりが求められます。

また、東京都は期間限定で多摩都市モノレールの小児1日乗車券（450円）を学校が長期休暇となる期間を中心に100円で販売すると発表しました。東京都は多摩地域が子育て世代にやさしい街とすべく施策展開の舵を切ろうとしています。区画整理が現在進行中の日野市にとっては朗報です。日野市でもタイアップした施策展開に期待します。



多摩川・浅川の堤防改修が着々と進行



多摩川日野橋～立日橋間堤防改修工事



浅川平山橋～滝合橋間堤防改修工事



多摩川・浅川の不適格堤防（堤防の高さと幅が規格を満たしていない）の整備について市議会議員時代から指摘をし、早期整備に向けて取り組んでまいりました。令和元年の台風19号による多摩川・浅川の洪水被害では、浅川の滝合橋周辺で溢水直前まで水位が上がり、消防団が土のうを積んで何とか危機をしのぎました。近隣の多くの市民の皆様が危機感を持たれたと思います。国でも気候変動の影響による災害の激甚化・頻発化に早急に対応すべく、令和2年度補正予算で多摩川水系の整備に約43.9億円の事業費を予算化して頂きました。これには朝日健太郎国交大臣政務官（当時）と小田原潔衆議院議員をはじめとする多くの関係者の皆様に尽力して頂きました。

令和3年度の多摩川の立日橋の下流部の堤防改修工事と浅川の平山橋から滝合橋間の一部の堤防改修工事がほぼ完了いたしましたので、朝日健太郎参議院議員、小田原代議士とともに視察に伺いました（左上写真 右から朝日健太郎、小田原きよし、西野正人）。今後は多摩川の立日橋上流部と浅川の滝合橋までの堤防改修工事が予定されています。日野橋の架け替え工事と併せて、早期実現に向けた取り組みをお願い致します。

水害は頻発する災害ではありませんが、発生すると被害が広範囲にわたり甚大です。近年の異常気象は、令和元年の台風級の被災がいつ起きてもおかしくありません。市民の命とくらしを守るのは政治の使命です。今後も、微力ではございますが、国・東京都・日野市のパイプ役となり、防災対策に取り組んでまいります。

前東京都議会議員 西野正人



昭和35年日野生まれ。日野第四小学校、日野第一中学校、日本大学附属明誠高等学校、明星大学人文学部経済学科卒業。平成18年日野市議会議員初当選、4期連続当選、第29代・30代日野市議会議員。2020年都議会議員初当選。2021年都議会議員選にて惜敗。自民党日野総支部長